

循環型社会形成推進事業等経費

とりまとめコメント

<循環型社会形成推進基本計画の指標について>

- 117の補助指標について、それらの指標を実績として管理するだけではなく、どの指標が4つの物質フロー指標の改善にどれだけ貢献したかの関連性を分析・把握することが必要ではないか。指標管理の結果、次の政策の重点化にどれだけ貢献できたか、それがこの事業の成果だと考える。
- 117の指標を日本全体で評価するだけでなく、地域ごとに達成度合いに差があることを明らかにし、それらに対する対応策等についても次期計画などで明らかにすべき。そうすることで、地方自治体も使いやすくなるのではないか。
- アウトカムの設定に当たっては、以下を検討すること。
 - ・ 指標の開発や数値目標を設定することが事業になっているので、その指標を成果として取り入れてもらう国や地方自治体の事業を増やすことが本事業の本来の成果ではないか。とりわけ、短期的なアウトカムとして、指標の活用を盛り込むべきではないか。
 - ・ 各自治体や関係機関において、本事業の成果（指標等）がどの程度活用されたか、その活用状況等がアウトカムとして盛り込まれることも重要ではないか。
 - ・ レビューシートでは、117の補助目標のうち、グリーン購入の意識が成果目標にあげられているが、これだけを取り出した根拠が不明。選ぶのであれば最も重要度が高いものを選ぶべき。

<モデル事業について>

- モデル事業は大変重要な事業である。得られた成果などを広く国民に啓発するとともに、他の地域でその成果を活かす横展開の取組を進める必要がある。
- この予算事業の中では異質の事業であり、ここに入れることは適切ではないのではないか。地域での活動を推進するような他の事業カテゴリーの中に置いた方が、より政策シナジーの効果が出るように思う。また、モデル事業の中身を見ると、特段新規性や先進性が高いとも思えず、国が手掛けるにふさわしい内容かは疑問がある。
- アウトカムの設定に当たっては、以下を検討すること。
 - ・「継続性」に関わる指標だけでなく、公募要領で求めている「発展性・波及性」についての説明も必要ではないか。
 - ・他地域に普及展開するのが狙いであれば、成果目標としては「いつまでに何地域に展開する」という目標設定が必要ではないか。シートに書かれた「モデル事業終了後も事業が継続していること」ではないはず。